

News Letter

2019年

8月

中国四国農政局
高知県拠点

宇佐・浦ノ内渚泊推進協議会

土佐市・須崎市

高知市中心部から南西に車で約30分。土佐市の宇佐漁港から須崎市の横浪半島(浦ノ内湾)にかけてのエリアは、美しい景観や様々な海洋レジャーが点在し、交流人口の拡大に向けた大きなポテンシャルを秘めています。しかし、これまで土佐市、須崎市の両市が連携した情報発信や、誘客に向けた取り組みは行われていませんでした。

そこで、平成29年に「宇佐・浦ノ内渚泊推進協議会」が組織されるとともに、農泊推進対策事業に選定され、体験観光メニューの磨き上げや、新たな観光資源の発掘など、両地区が連携した観光客の満足度の向上に向けた取組が進められています。



(浦ノ内湾全景)

多彩な体験観光メニュー

土佐市の宇佐地区では、宇佐しおかぜ公園から出発するホエールウォッチングが鯨との遭遇率の高さから人気です。さらに、新たな観光メニューとして、横浪半島の海上クルージングが現在企画されています。また、老舗の鯉節工場の見学を行うこともできます。

更に西に進み須崎市へ入ると、波の穏やかな浦ノ内湾では、海上の筏での魚釣りを手ぶらで来ても体験することができます。また、シーカヤックやSUP(スタンドアップパドルサーフィン)等の海洋レジャーを楽しむことができます。中でも、昨年から夏限定で開催されている「海上アスレチック」は人気があり、今年は遊具数も倍増され、多くのお客さんで賑わっています。



(ホエールウォッチング)



(鯉節工場)



(釣いかだ)



(海上アスレチック)

土佐の宮島「鳴無(おとなし)神社」

浦ノ内湾にある鳴無地区には、由緒ある神社があり、海まで伸びる参道や海に向かって建つ社殿の様子から「土佐の宮島」と呼ばれています。創建は鎌倉時代と古く、現在の社殿は1663年に再建され、国の重要文化財に指定されています。近年では縁結びの神社として人気があります。



(鮮度抜群なウルメイワシの刺身)

豊かな地域食材

宇佐地区では、ウルメイワシのブランド化が進められており、鮮度抜群の「一本釣りうるめいわし」を刺身等で食べることができる店のほか、新鮮な貝類を提供する店もあります。

浦ノ内地区(池ノ浦)では、目の前の海で水揚げされた新鮮な伊勢エビを提供する店があり、伊勢エビ料理のフルコースが人気です。

体験メニューが少なくなる冬場の集客対策などの課題はありますが、協議会では海の魅力をPRするだけでなく、自然や水産資源の大切さを多くの方々知ってもらうため、官民一体となって観光誘致に取り組んでおり、今年度は写真コンテストを開催予定です。

写真提供：宇佐・浦ノ内渚泊推進協議会 TEL: 088-854-3600(事務局)

本町合庁プレゼンツ夏休みこどもフェス 大盛況！

令和元年8月8日、高知市オーテピア5階の「高知みらい科学館」で開催された、『本町合庁プレゼンツ夏休みこどもフェス』は、150人を超える来客で大賑わいとなりました。



農政局ブースでは、稲が食べられるお米になるまでを、千歯こきや手回しもみすり機等を使って体験してもらいました。また、テラスでは脱穀から精米までを大型機械を使って実演。子供達は普段食べているご飯になるまでの手順の多さや、機械の作業効率の良さに驚いていました。



パソコンを使った農業クイズも大好評で、全問正解をするまで解説文を読んでトライする熱心なお子様を見て、保護者の方も「夏休みの自由研究になるね！」と喜ばれていました。

また、气象台ブースや行政相談センターブースも大賑わいで、それぞれのブースを歩き来してスタンプラリーを押しながら、子供達は夏休みの学習を楽しんでいました。



編集：中国四国農政局 高知県拠点

〒780-0870 高知市本町4丁目3-41 高知地方合同庁舎

TEL (088)875-7236 FAX(088)872-7531 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>